

平成 26 年度第 2 回歯科保健事業従事歯科衛生士研修会のご案内（抄録及び講師略歴）

1. 日時 平成 26 年 12 月 21 日（日）10：00～12：00（受付 9 時 30 分から）
2. 場所 茨城県歯科医師会館 3F 講堂 水戸市見和 2-292
3. 内容 **演題「他職種連携における歯科衛生士の役割」**  
**講師 石岡第一病院 歯科口腔外科 萩原敏之 先生**  
(「周術期（がん患者等）の口腔ケア」Ⅷ-A、C 2 単位)
4. 受講料 無料

<抄録>

日本ではすでに現在 65 歳以上の人口比率が 25%を越え、世界でもまれにみる超高齢社会となりました。最近では「連携」という言葉が医療介護の現場で日常飛び交っています。これはご存知のように、高齢者の QOL(生命、生活、人生の質)を支えるにはとうてい一職種では支えきれなくなっていることから始まりました。ひとりの高齢者の QOL を支えるには、さまざまな職種がチームを組んで行う以外に方法はありません。

歯科衛生士高齢者歯科教本の 1 ページめに trans-disciplinary という言葉が出ています。実際の医療介護の現場では、すべての職種が一人の患者または要介護者に携わることは不可能に近く、抜けている役割を担当している誰かが補っていかなければなりません。多くのコメディカル、コデンタルは、それぞれの法律が認める診療範囲内でお互いの役割を補っていく必要があるのです。本日はこの trans-disciplinary に対応できる歯科衛生士のためのお話しをしたいと思います。

<講師略歴>

萩原 敏之

1983 年 岩手医科大学歯学部卒業

1989 年 筑波大学大学院医学研究科修了（医学博士）

1991 年 筑波大学臨床医学系講師

2006 年 茨城歯科専門学校衛生士科高齢者歯科担当

2008 年 公益社団法人地域医療振興協会石岡第一病院口腔外科部長

2012 年より 茨城県立中央病院兼務

(社) 日本口腔外科学会認定口腔外科専門医、指導医

(社) 日本がん治療認定医機構暫定教育医（歯科口腔外科）

役職

茨城県病院歯科医会 専務理事

日本病院歯科口腔外科協議会 理事

茨城県保険医協会 理事

著書：口腔ケアガイド（共訳）

医科歯科連携を考える（茨城県保険医協会）

現在、月刊保団連に「医科歯科連携を考える」を連載中